

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)新田辺駅前プロジェクト

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.1	
Q1 室内環境					0.40		-	3.9	
1 音環境				2.0	0.15	3.4	1.00	3.2	
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		-		1.0	0.50	3.9	0.50		
1 開口部遮音性能		住戸:T-2以上		1.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		界壁:RC=tl180		-	-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音		-		-	-	-	-		
2 温熱環境				2.6	0.35	5.0	1.00	4.5	
2.1 室温制御		-		2.2	0.50	5.0	1.00		
1 室温		-		3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能		住宅性能表示基準 断熱等性能等級4を超える性能を満たす		1.0	0.38	5.0	1.00		
3 ゾーン別制御性		-		-	-	-	-		
2.2 湿度制御		-		3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式		-		3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				2.7	0.25	3.7	1.00	3.5	
3.1 昼光利用		-		4.2	0.30	4.0	0.35		
1 昼光率		共用部:2.5%以上 住戸:2.0%以上		5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口		-		-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		-		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		-		1.0	0.30	4.0	0.35		
1 昼光制御		住戸:カーテンBox+庇(バルコニー)		1.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		-		3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		-		3.0	0.25	3.0	0.29		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.8	1.00	3.8	
4.1 発生源対策		-		4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気		-		3.0	0.40	3.6	0.38		
1 換気量		-		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保		-	-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		-		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理		-		-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		-		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-		-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2	
1 機能性				2.4	0.40	3.8	1.00	3.5	
1.1 機能性・使いやすさ		-		3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		-		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		CAT6Aのケーブル使用		-	-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画		-		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		-		1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		-		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-		-	-	-	-		
3 内装計画		-		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		-		3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		-		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		-		3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-	3.2	
2.1 耐震・免震・制震・制振		-		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		-		4.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能表示基準 劣化対策等級3相当		5.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		タイル貼り:30年以上		5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種の2種類以上にB以上を使用、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		-		2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		-		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		-		2.0	0.20	-	-		
3 電気設備		-		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		-		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		-		2.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性		3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1	空間のゆとり		-	-	2.6	0.50	
1	1 階高のゆとり	-	-	-	3.0	0.60	
2	2 空間の形状・自由さ	-	-	-	2.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
2	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
3	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
4	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
5	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
6	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.1
1	1 生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30	-	-	2.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-	
3.2	3.2 敷地内温暖環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能表示基準 断熱等性能等級4を超える性能を満たす	5.0	0.20	-	-	5.0
2	2 自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	3 設備システムの高効率化	BEI=0.68	5.0	0.50	-	-	5.0
4	4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.2	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
4.3	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
4.4	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.5	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
4.6	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1	1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1	1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1.3	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	
1.4	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60	-	-	3.2
2.1	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	押出ポリスチレンフォーム、ビニル床シート	4.0	0.20	-	-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS(木軸)・PB+ビニルクロス	4.0	0.20	-	-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
3.3	1 消火剤	ガス消火設備がない	-	-	-	-	
3.4	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0未満かつGWPが低い断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	
3.5	3 冷媒	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率68%	4.2	0.33	-	-	4.2
2	2 地域環境への配慮		3.3	0.33	-	-	3.3
2.1	2.1 大気汚染防止	オール電化	5.0	0.25	-	-	
2.2	2.2 温暖環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-	
2.4	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2.5	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
2.6	3 交通負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
2.7	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
3.2	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
3.3	2 振動	-	-	-	-	-	
3.4	3 悪臭	-	-	-	-	-	
3.5	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
3.6	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
3.7	2 砂塵の抑制	-	3.0	-	-	-	
3.8	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
3.9	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
3.10	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	
3.11	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)新田辺駅前プロジェクト

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	5.0	-	-	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	6.0	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0	-	1.0	-	-	-	2.0	-	-	2.0	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η) -			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
昼光率	0.0%				
自然換気有効開口面積率	0.0%				

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース	.0㎡ / 人	病床	.0㎡ / 床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡				
コンセント容量	0.0 VA/㎡									
天井高	0 m									
リフレッシュスペース	%	レストスペース %								
想定耐用年数	0 年									
想定必要間隔	0 年									
想定必要間隔	0 年									
想定必要間隔	0 年									
階高	0 m									
壁長さ比率	0.0%									
床荷重	- N/m2									
外構緑化指数	31%	建物緑化指数	0%							
空地率	49%	水平投影面積率	9%	地表面対策面積率	20%	舗装面積率	43%			
BPI/BPI _m	-	断熱等性能等級	等級4を超える 相当							
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%					
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%					
BPI/BPI _m	非住宅	-	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
雨水利用率	0.0%									
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-					
使用比率	0.0%									
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)								
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)								
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8							
見付面積比	176%	隣棟間隔指標Rw	0.14							
地表面対策面積率	34.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%					
見付面積S _b	1,188㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	44.916 m	基準高さH _b	14.96 m					
緑地	56㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡	㎡